「なんでそんなに食べられるの？」との質問に「そこに食べ物があるから」と名言をもじって答えたら無視され寂しい思いをした坂です。こんなに暑い日が続くと食欲が落ちたり、冷たいものが欲しくなったりしてもよさそうですが相変わらず食欲は落ちずボリュームがあることで有名なお好み焼き屋さんでお好み焼きと焼きそばを汗を流しながらも完食してしまう自分の胃袋に改めて驚いています。焦げるソースの匂いが箸を進ませるスピードを上げてくれる感覚があるのですが、このことを先輩社員に話すと今度は「へぇー」と興味のなさそうな返事が返ってきました。僕の話すことをチョットだけでいいから聞いてくれる後輩が早く欲しいです(笑)。余談ですが焼肉やお寿司といった高級な食べものだと、あまり食べられない経済的な一面もあります(笑)。

○　坂　拓磨
○　35 歳 3 児の父！

まだ新入社員？　坂(バン)が昼ごはんにまつわるエピソードを綴る　昼だけどバンメシ！のコーナー

復活！ わかったら答えを書いてハガキで応募！クイズのコーナー！

先月号のクイズは「勤めはじめたと思ったら、すぐクビになってしまう虫はなーんだ？」でした。今回もこのクイズを読んだドリーマーのスタッフが「きっとアリよ。働きアリの中にも働かないアリがいるのよ」と問題を無視した個人的な思いを語ってくれました(笑)。いつになったらクイズをちゃんと解いてくれるのでしょうか？(笑)そんなことはさておき、先月号の答えは「カイコ(解雇)」が正解でした。正解者の中から四万十市蕨岡甲のＴ様、井沢のＩ様、黒潮町蜷川のＨ様の 3 名様に南国フルーツのおいしさを凝縮。飲むフルーツ酢セットをプレゼント！おめでとうございます。ではここで今月号のクイズです。「ひっくり返ると軽くなる動物は？」答えがわかった方は郵便番号 787-0009　住所　四万十市佐岡 446　ドリーマー中村葬祭館かわら版 8 月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から 3 名様に芳醇な香りと奥深い味わい　蔵元のみそ汁 18 食セットをプレゼント！今回もヒントをお教えしますね。自分の力で問題を解きたい方は読まないでくださいよ。ヒント 1 は「その動物を逆から読むと・・・」ヒント 2 は「海に住む 3 文字の動物」です。答えが解ったらドシドシご応募ください。早い所では新米が収穫できるこの時期。是非、一緒に食べて頂きたい一品を選びました。お味噌汁と漬物があればお茶碗で 2 膳分はご飯が食べられる、お米大好き横山奈歩がお届け致しました(笑)。

あとがきにかえて

日陰でじっとしているだけで
汗が流れ出て、体力が消耗して
いくのがわかる暑さ。こんな日が
いつまで続くのかと思っていたら、
お盆に台風が直撃するとの予報。
この記事を書かせて頂いているのは
八月十一日　日曜日。例年なら県外から
サーフィンを楽しみにいらっしゃる
観光客で一杯の海岸も高波でほとんど
おらず、寂しさが漂っていました。
観光業にも悪影響が出そうです。
ですから、過ごしにくいとは思わず
夏はしっかり、ちゃんと暑い方が
いい。そう思う方が良いのかも
しれません。残りの暑い日も
こまめな水分補給で乗り越えて
行きたいと思います。

○佐竹　健作
○空手三段のお掃除好き

～　会館だより　～

良く冷えたそうめんをオクラと梅をみじん切りにしたものをこれまたよく冷えたツユに入れて食べるのが夏を乗り切る秘訣だと真剣に思う高野です(笑)。佐竹さんの号令で会館入口の庭園の砂利を入れ替える作業を職員総出で行いました。砂利 2 トンを使用する大掛かりなものになり、半日の時間を要しました。作業は熱中症になる職員も出ず無事終了しました。見た目がよくなったのと雑草が生えにくくなる効果が見込めそうです。ですが、何故この暑い時期に？みんなの佐竹さんを見る目が冷たかったのを思い出します(笑)。

高野　香

毎月 20 日に新聞折込しています!!

ドリーマー中村葬祭館 これを知って!!のコーナー

創刊号を振り返ってみて

○山本　純子
○孫大好き！
○ケーキも大好き！

平成 24 年 4 月に創刊号が出来た、このかわら版。当初は 2 か月に 1 度の発行でした。今回の 78 号で 7 回目の夏を迎えることが出来ました。ことあるごとに目に入れても痛くない愛らしい孫の姿を記事に書かせて頂き、孫バカっぷりを晒してまいりましたが、その孫も今年で 10 歳。幼さの中にも大人を感じさせるようなものの言い方や表情をときより感じるようになりました。7 年の歳月があっという間に過ぎてしまったという感覚と確実に時を重ねていることを孫の成長を通して感じています。私事で恐縮ですが今年の誕生日で還暦を迎え 20 年近いドリーマーでのお仕事に一区切りの節目の年を迎えることができました。今後も変わらずドリーマーでお仕事をさせて頂きますが、ここまでやってこられたのも、何の経験も知識もなかった私を温かい目で見守り、支えてくださった皆様方のおかげだと痛感しております。これからも学ぶ姿勢を忘れず成長していけたらと思います。実年齢より若いとよく言って頂ける気がする私ですが、後何十年もお仕事を続けていけるわけではありません。私の得た経験と知識を後進に伝えていけたらと思います。共に学び、成長していける人材をドリーマー中村葬祭館では募集しています。少しでも興味がある方はご連絡くださいね。お待ちしています。

重要です！

1.もしもの時、あわてない為に事前にできる事

葬儀会社に事前相談をして見積をとる事をオススメします。料金はもちろんですが、会館や担当者の雰囲気を感じる絶好の機会ですから、疑問点があれば、なんでも質問してみましょう。私、山本は丁寧な敬語は苦手ですが幡多弁を駆使して一生懸命ご説明します。親しみやすい人柄だとよく言って頂けるので安心してご相談ください。葬儀会社を比較して選択しておく。とても重要なポイントです。

2.いざ、その時がきてしまったら・・・

①.ドリーマーに電話(24 時間対応しています)　⇒　②.担当者との打ち合わせ(ご要望をお聞かせください)　⇒　③.担当者が見積を作成(わかりやすく、ご説明します)

ここがポイント！

この段階で大体の葬儀代金がでます。ここで予算が合わないようでしたら、再度ご希望に合うようご提案させて頂きます。ですから予定のご予算でお葬儀をして頂けます。安心して私達ドリーマーをお選びください。ドリーマーは互助会の会社ですので事前に入会して頂ければ割引等会員様特典がございます！まずはご相談を！